

【令和3年10月24日】

## 総合旅行業務取扱管理者試験問題用紙

第2時限目	受験区分 (受験番号の頭の アルファベット)	試験時間	受験科目	問題用紙
	A、G	13:30～15:30 (120分)	③ 国内旅行実務	1頁～18頁
			④ 海外旅行実務	19頁～39頁 資料編 1頁～6頁
	B、H	13:30～14:10 (40分)	③ 国内旅行実務	1頁～18頁
	C、E	13:30～14:50 (80分)	④ 海外旅行実務	19頁～39頁 資料編 1頁～6頁

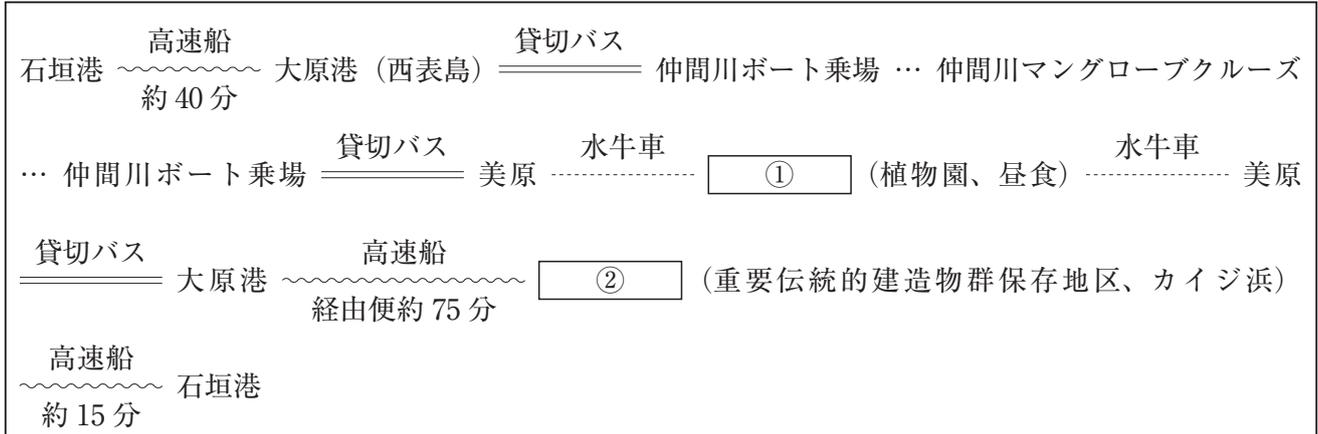
## ※※ 注 意 ※※

- 開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
- |  |
|--|
| <p>受験区分が A、G の受験者は、③国内旅行実務と④海外旅行実務を解答してください。<br/>           受験区分が B、H の受験者は、③国内旅行実務を解答してください。<br/>           受験区分が C、E の受験者は、④海外旅行実務を解答してください。</p> |
|--|
- 解答用紙の解答欄は、左側が③国内旅行実務、右側が④海外旅行実務となります。
- 解答は問題の指示に従い、解答用紙の解答欄にマークしてください。
- 頁の欠落や印刷の不鮮明なものがありましたら、着席したまま手を挙げてください。  
問題の内容に関する質問にはお答えできません。
- 試験問題の配点は、問題用紙及び解答用紙に明示しています。
- 試験問題、資料等一部試験用に設定された箇所があります。
- 本試験問題は、特段のことわりのない限り、原則として令和3年8月1日を基準として作成しています。
- 取り消し、払い戻し（もどし）等に関する設問については、通常時における取り扱いを問うものとして出題しております。
- 出題の根拠となる法令・規則に関しては、令和3年8月1日現在施行、有効なものとしします。
- 本年度の合格基準については、試験結果発表時（令和3年12月14日予定）に受験者に郵送で通知します。なお、受験者個人の解答状況及び得点等に関してはお答えできません。
- 試験不合格者のうち、試験科目「国内旅行実務」「海外旅行実務」のそれぞれの科目の合格基準に達した人は、翌年度の試験に限り、合格基準に達した科目の受験を免除します。試験結果通知の際、試験不合格を通知するとともに、当該科目の合否についても通知をします。

### ③ 国内旅行実務

第1問 次のオプションツアーの〔行程〕に関する以下の問1.～問2.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(地名等については、都道府県等の公式ホームページ、百科事典等を参考としている。) (配点 2点×2)

〔行程〕



問1. 西表島へつながる海は遠浅で、水牛車で海を渡ること知られる ① に該当する島は、次のうちどれか。

- a. 多良間島                      b. 波照間島                      c. 由布島                      d. 与那国島

問2. 周囲約 9 km の島で、石垣とフクギに囲まれた赤瓦の民家や白砂を敷いた道路などが昔ながらの集落景観をとどめている ② に該当する島は、次のうちどれか。

- a. 小浜島                      b. 竹富島                      c. 渡名喜島                      d. 鳩間島

第2問 以下の写真に関する問3.～問5.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(地名等については、都道府県等の公式ホームページ、百科事典等を参考としている。) (配点 2点×3)

問3. 本年(2021年)7月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界文化遺産に登録された写真の遺跡は、次のうちどれか。

[写真]



- a. 一乗谷朝倉氏遺跡    b. 三内丸山遺跡    c. 登呂遺跡    d. 吉野ヶ里遺跡

問4. 上信越高原国立公園に属し日本三大峡谷のひとつとして知られ、トンネルにある3か所の見晴所と写真のパノラマステーションから峡谷美を観賞できる峡谷は、次のうちどれか。

[写真]



- a. 大杉谷    b. 清津峡    c. 黒部峡谷    d. 瀨峡

問5. 島津家の別邸で、錦江湾を池に桜島を築山に見立てた雄大な景観で知られる写真の庭園は、次のうちどれか。

[写真]



- a. 慧洲園                      b. 松濤園                      c. 成趣園                      d. 仙巖園

第3問 以下の問6.～問16.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(地名等については、都道府県等の公式ホームページ、百科事典等を参考としている。) (配点 2点×11)

問6. 次の空欄に該当するものはどれか。

支笏洞爺国立公園に属し「蝦夷富士」と称される  は日本百名山のひとつで、麓の京極町には、名水百選（昭和60年選定）に選ばれた水が湧き出している「ふきだし公園」がある。

- a. 昭和新山                      b. 大雪山                      c. 十勝岳                      d. 羊蹄山

問7. 次の空欄に該当するものはどれか。

金沢城の西側に位置し、江戸時代に玉泉院丸（現在の玉泉院丸庭園）と金谷出丸（現在の尾山神社）を結ぶ出入口として使われていた  は、黒漆喰で仕上げられた海鼠壁の目地が特徴で、2020年7月に復元整備された。

- a. 石川門                      b. 河北門                      c. 橋爪門                      d. 鼠多門

問8. 次の空欄に該当するものはどれか。

京都市右京区にある臨済宗の古刹  は、世界文化遺産に登録されており、石庭として有名な白砂に15個の石を配した方丈庭園がある。

- a. 西芳寺                      b. 天龍寺                      c. 仁和寺                      d. 龍安寺

問9. 次の空欄に該当するものはどれか。

「女人高野」と呼ばれる□は、シャクナゲやモミジが境内を美しく彩ることで知られ、屋外に立つ古塔としてわが国で最小の高さ16mの五重塔がある。

- a. 大野寺                      b. 當麻寺                      c. 長谷寺                      d. 室生寺

問10. 次の空欄に該当するものはどれか。

揖保川の近くにある城下町で、武家屋敷、白壁の土蔵が今もなお残り、播磨の小京都といわれる□は、うすくち醤油発祥の地としても知られ、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

- a. 赤穂                      b. 出石                      c. 篠山                      d. 龍野

問11. 次の空欄に該当するものはどれか。

2013年10月に運行を開始したJR九州のクルーズトレイン□は、豊かな自然、食、文化、歴史に彩られた九州の魅力を堪能することができる豪華寝台列車である。

- a. 「或る列車」                      b. 「A列車で行こう」  
c. 「36ぷらす3」                      d. 「ななつ星 in 九州」

問12. 次の下線部a.～d.のうち、誤っているものはどれか。

北海道の湖沼には、砂嘴でオホーツク海と隔てられ、ホタテ養殖の発祥地である a. サロマ湖、全面結氷する湖としては日本一の大きさで、南側に和琴半島が突き出た b. 屈斜路湖、湖の中央には中島があり南側には有珠山がある c. 阿寒湖、駒ヶ岳の南側にあり、わかさぎ漁で有名な d. 大沼などがある。

問13. 次の下線部a.～d.のうち、誤っているものはどれか。

秋田県の観光地等には、みちのくの小京都として知られる a. 角館、男鹿半島東部に位置する火山で山頂には回転展望台がある b. 寒風山、小坂鉦山の厚生施設として誕生した芝居小屋の c. 斜陽館、東北の耶馬溪と称され、「神の岩橋」からの眺望がすばらしい d. 抱返り溪谷などがある。

問14. 次の下線部a.～d.のうち、誤っているものはどれか。

群馬県の温泉地には、利根川上流の溪流沿いに旅館やホテルが建ち並ぶ a. 水上温泉、片品川に沿った斜面に旅館やホテルが建ち並ぶ b. 老神温泉、日本三名泉のひとつで、温泉街の中心に湯畑がある c. 草津温泉、榛名山東麓に湧く温泉で、急な石段を挟んで雛壇状に旅館や飲食店が並ぶ d. 四万温泉などがある。

問15. 次の下線部a.～d.のうち、誤っているものはどれか。

瀬戸内しまなみ海道は、「文学のこみち」や千光寺公園などがある a.尾道から、村上水軍の武具などの歴史資料が展示されている城型資料館 b.村上海賊ミュージアムがある因島、国宝、重要文化財の指定を受けた武具類の約8割を収蔵しているといわれる宝物館を有する c.大山祇神社がある大三島などを経て、タオルの産地として知られ、タオル美術館がある d.今治に至る本州四国連絡橋ルートのひとつである。

問16. 次の記念館と温泉地との組合せのうち、同一都道府県にない組合せはどれか。

- a. 宮沢賢治記念館 - 花巻温泉
- b. 谷崎潤一郎記念館 - 城崎温泉
- c. 森鷗外記念館 - 玉造温泉
- d. 漱石山房記念館 - 道後温泉

第4問 以下の問17.～問20.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢からすべて選び、解答用紙にマークしなさい。(地名等については、都道府県等の公式ホームページ、百科事典等を参考としている。) (配点 2点×4)

問17. 次の湖と温泉地との組合せのうち、同一都道府県にある組合せをすべて選びなさい。

- a. 猪苗代湖 - 東山温泉
- b. 野尻湖 - 野沢温泉
- c. 琵琶湖 - おごと温泉

問18. 次の橋と郷土料理との組合せのうち、同一都道府県のものである組合せをすべて選びなさい。

- a. 鶴の舞橋 - いちご煮
- b. 谷瀬の吊り橋 - 朴葉みそ
- c. 祖谷のかずら橋 - 皿鉢料理

問19. 次の陶磁器とその生産地の都道府県との組合せのうち、正しい組合せをすべて選びなさい。

- a. 信楽焼 - 滋賀県
- b. 砥部焼 - 愛媛県
- c. 有田焼 - 佐賀県

問20. 次の半島とその半島に所在する温泉地との組合せのうち、正しい組合せをすべて選びなさい。

- a. 伊豆半島 - 土肥温泉
- b. 島原半島 - 雲仙温泉
- c. 薩摩半島 - 指宿温泉

第5問 宿泊に関する以下の問21.の設問について、該当するものを選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(配点 5点×1)

問21. 大人1人の基本宿泊料が1泊夕・朝食付き20,000円(サービス料別・税金別)の栃木県那須塩原市塩原温泉の温泉旅館に大人3人と11歳の小学生1人で1泊する場合、宿泊客が支払うべき宿泊料金等の総額で正しいものは次のうちどれか。

- ※モデル宿泊約款により算出するものとする。
- ※子供は「大人に準じる食事と寝具等」を提供するものとする。
- ※サービス料は10%とする。
- ※年齢12歳未満は、入湯税が課税免除となっている。
- ※入湯税の税率(1人について)

1泊につき

宿泊料金(基本宿泊料とサービス料の合計額)の区分	税率
10,000円以下	200円
10,001円以上20,000円以下	250円
20,001円以上	350円

※追加料金は発生しないものとする。

- a. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 3 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 70\%) \times 1 \text{人} = 74,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $74,000 \text{円} \times 10\% = 7,400 \text{円}$  ..... ②  
 消費税  $(74,000 \text{円} + 7,400 \text{円}) \times 10\% = 8,140 \text{円}$  ..... ③  
 入湯税  $250 \text{円} \times 3 \text{人} = 750 \text{円}$  ..... ④  
 $\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} = \boxed{90,290 \text{円}}$
- b. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 3 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 70\%) \times 1 \text{人} = 74,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $74,000 \text{円} \times 10\% = 7,400 \text{円}$  ..... ②  
 入湯税  $250 \text{円} \times 3 \text{人} = 750 \text{円}$  ..... ③  
 消費税  $(74,000 \text{円} + 7,400 \text{円} + 750 \text{円}) \times 10\% = 8,215 \text{円}$  ..... ④  
 $\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} = \boxed{90,365 \text{円}}$
- c. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 3 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 70\%) \times 1 \text{人} = 74,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $74,000 \text{円} \times 10\% = 7,400 \text{円}$  ..... ②  
 消費税  $(74,000 \text{円} + 7,400 \text{円}) \times 10\% = 8,140 \text{円}$  ..... ③  
 入湯税  $350 \text{円} \times 3 \text{人} = 1,050 \text{円}$  ..... ④  
 $\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} = \boxed{90,590 \text{円}}$
- d. 基本宿泊料  $20,000 \text{円} \times 3 \text{人} + (20,000 \text{円} \times 70\%) \times 1 \text{人} = 74,000 \text{円}$  ..... ①  
 サービス料  $74,000 \text{円} \times 10\% = 7,400 \text{円}$  ..... ②  
 入湯税  $350 \text{円} \times 3 \text{人} = 1,050 \text{円}$  ..... ③  
 消費税  $(74,000 \text{円} + 7,400 \text{円} + 1,050 \text{円}) \times 10\% = 8,245 \text{円}$  ..... ④  
 $\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} = \boxed{90,695 \text{円}}$

第6問 貸切バスに関する以下の問22.の設問について、該当するものを選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(配点 5点×1)

問22. 以下の行程(日帰り)を標準的装備の大型車で運行するとき、1台あたりの貸切バスの運賃の合計額で正しいものは次のうちどれか。

[行程]

8:00	回送 (25分)	8:25	旅客乗車走行・ 待機(2時間)	10:25	回送 (1時間25分)	11:50
出庫	12 km	配車地	65 km	到着地	35 km	帰庫

※「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について(平成26年3月26日付 関東運輸局長公示)」によるものとする。

※運賃は時間・キロ併用制運賃とする。

※時間制運賃(1時間あたり)7,000円とする。

※キロ制運賃(1kmあたり)170円とする。

※運賃の割引、消費税の計算は行わないものとする。

※この行程に関わる料金は考慮しないものとする。

- a. 時間制運賃 7,000円×4時間=28,000円 ..... ①  
 キロ制運賃 170円×110km=18,700円 ..... ②  
 ①+②= 46,700円
- b. 時間制運賃 7,000円×5時間=35,000円 ..... ①  
 キロ制運賃 170円×110km=18,700円 ..... ②  
 ①+②= 53,700円
- c. 時間制運賃 7,000円×6時間=42,000円 ..... ①  
 キロ制運賃 170円×120km=20,400円 ..... ②  
 ①+②= 62,400円
- d. 時間制運賃 7,000円×7時間=49,000円 ..... ①  
 キロ制運賃 170円×120km=20,400円 ..... ②  
 ①+②= 69,400円

第7問 フェリーの運送に関する以下の問23.の設問について、該当するものを選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(配点 5点×1)

問23. 幼稚園の先生(大人)10人、5歳の幼稚園児20人、貸切バスの運転者1人、バスガイド1人の計32人の幼稚園の団体の旅客が、貸切バス(車長11m以上12m未満)1台でフェリーの2等船室(自由席)を利用し、団体割引を適用して片道で乗船する場合、団体の旅客が支払う運賃(旅客運賃及び貸切バス航送運賃)の総額で正しいものは次のうちどれか。

※海上運送法第9条第3項の規定に基づく標準運送約款によるものとする。

※2等旅客運賃(片道/団体割引適用)大人1人 2,390円、小児1人 1,200円とする。

※運賃は、大人に同伴されて乗船する1歳以上の小学校に就学していない小児(団体として乗船する者及び大人1人につき1人を超えて同伴されて乗船する者を除く。)は無料とする。

※自動車航送運賃 41,600円(車長11m以上12m未満)とする。

- |  |         |
|--|---------|
| a. $2,390 \text{円} \times 10 \text{人} + 1,200 \text{円} \times 10 \text{人} + 41,600 \text{円} = 77,500 \text{円}$ | 77,500円 |
| b. $2,390 \text{円} \times 11 \text{人} + 1,200 \text{円} \times 10 \text{人} + 41,600 \text{円} = 79,890 \text{円}$ | 79,890円 |
| c. $2,390 \text{円} \times 10 \text{人} + 1,200 \text{円} \times 20 \text{人} + 41,600 \text{円} = 89,500 \text{円}$ | 89,500円 |
| d. $2,390 \text{円} \times 11 \text{人} + 1,200 \text{円} \times 20 \text{人} + 41,600 \text{円} = 91,890 \text{円}$ | 91,890円 |

第8問 国内航空に関する以下の問24.～問25.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。(配点 5点×2)

問24. 日本航空の航空券の取扱いに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 「小児普通運賃」は、旅客が満11歳の時に航空券を購入すれば、搭乗日当日に満12歳の誕生日を迎える場合にも適用される。
- b. 「往復割引」は、満12歳以上の旅客が往路搭乗日の翌日から起算して10日以内に同一路線を往復する場合に限り適用される。
- c. 「スカイメイト」は、満12歳以上26歳未満の旅客に適用され、搭乗日当日の午前0時から予約ができる。
- d. 「当日シニア割引」は、満65歳以上の旅客に適用され、予約はできず、搭乗日当日出発空港にて最終的に空席が見込まれる場合に利用可能である。

問25. 日本航空の「特便割引1」運賃に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 搭乗日の前日に予約した場合、購入期限は搭乗便の出発時刻20分前までである。
- b. 搭乗日当日予約便より前の便に空席がある場合に限り、予約の変更ができる。
- c. ファーストクラス運賃の設定がある便にのみ、ファーストクラスの予約ができる。
- d. 搭乗日の55日前に予約を取り消し、払い戻しした場合、取消手数料は運賃額の5%（払戻手数料を含む）である。

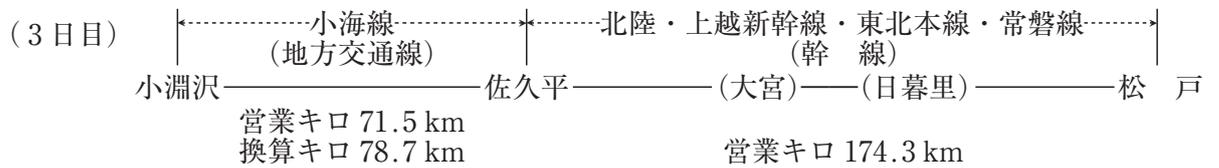
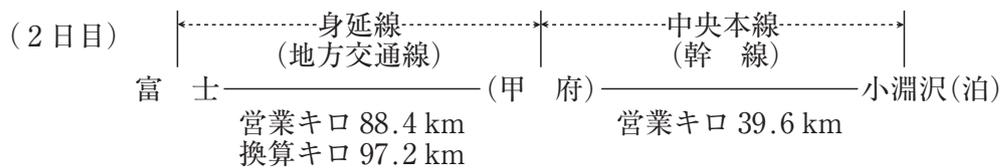
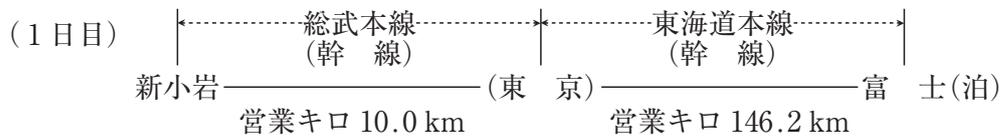
第9問 旅客鉄道（JR）に関する以下の問26.～問32.の各設問について、該当するものをそれぞれの選択肢から一つ選び、解答用紙にマークしなさい。（配点 5点×7）

問26. 以下の行程を大人1人が新小岩から乗車し、富士と小淵沢でそれぞれ1泊し、3日間で松戸まで乗車する場合、大人片道運賃で正しいものは次のうちどれか。

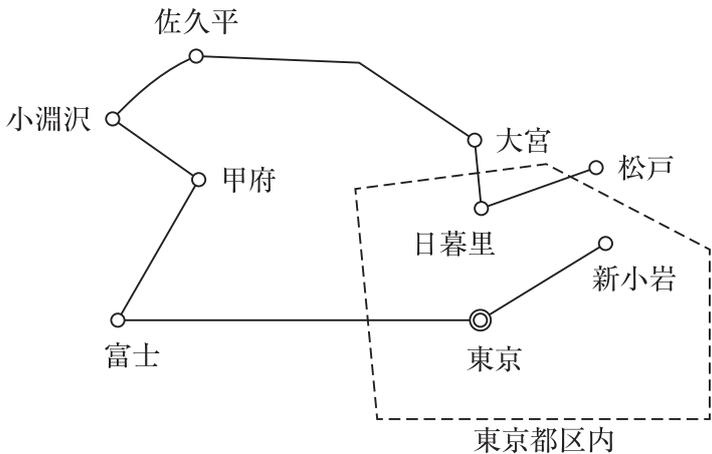
※1日目と2日目の行程中、富士、小淵沢以外では途中下車はしないで乗車し、3日目の行程では佐久平で途中下車するものとする。

※新小岩、日暮里は東京都区内に属する駅で、中心駅は東京である。

[行程]



<参考>



【本州内 J R 3 社の幹線用普通運賃表】（抜粋）

営業キロ（運賃計算キロ）	片道運賃
121～140 km	2,310 円
141～160 km	2,640 円
161～180 km	3,080 円
501～520 km	8,360 円
521～540 km	8,580 円
541～560 km	8,910 円

【本州内 J R 3 社の地方交通線用普通運賃表】（抜粋）

営業キロ	片道運賃
65～73 km	1,340 円

a.  $146.2 \text{ km} + 88.4 \text{ km} + 39.6 \text{ km} + 71.5 \text{ km} + 174.3 \text{ km} = 520.0 \text{ km}$  ..... 8,360 円 8,360 円

b.  $146.2 \text{ km} + 97.2 \text{ km} + 39.6 \text{ km} + 78.7 \text{ km} + 174.3 \text{ km} = 536.0 \text{ km}$  ..... 8,580 円 8,580 円

c.  $10.0 \text{ km} + 146.2 \text{ km} + 97.2 \text{ km} + 39.6 \text{ km} + 78.7 \text{ km} + 174.3 \text{ km}$   
 $= 546.0 \text{ km}$  ..... 8,910 円 8,910 円

d.  $10.0 \text{ km} + 146.2 \text{ km} = 156.2 \text{ km}$  ..... 2,640 円 ..... ①  
 $97.2 \text{ km} + 39.6 \text{ km} = 136.8 \text{ km}$  ..... 2,310 円 ..... ②  
 $71.5 \text{ km}$  ..... 1,340 円 ..... ③  
 $174.3 \text{ km}$  ..... 3,080 円 ..... ④  
① + ② + ③ + ④ = 9,370 円

問27. 以下の記載の日に列車に乗車する場合、下線を付した列車に乗継割引が適用されるものは次のうちどれか。

a. 新青森 ———— 新函館北斗 ———— 函館 ———— 札幌

10月1日  
新幹線「はやぶさ号」

10月1日  
普通列車

10月1日  
特急「北斗号」

b. 静岡 ———— 小田原 ———— 藤沢

10月1日  
新幹線「こだま号」

10月1日  
特急「湘南号」

c. 松山 ———— 岡山 ———— 新大阪

10月1日  
特急「しおかぜ号」

10月2日  
新幹線「のぞみ号」

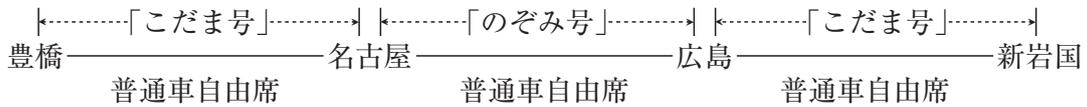
d. 東京 ———— 岡山 ———— 高知

10月1日  
特急「サンライズ瀬戸号」

10月2日  
特急「南風号」

問28. 以下の行程を大人1人が、通常期に新幹線の改札口を出ないで乗り継ぐ場合、特急料金で正しいものは次のうちどれか。

[行程]



【東海道・山陽新幹線「ひかり・こだま号」の指定席特急料金（通常期）】（抜粋）

豊橋			
※990円	名古屋		
5,920円	5,490円	広島	
5,920円	5,490円	※870円	新岩国

※表中斜字の料金は自由席を利用の場合の特定特急料金

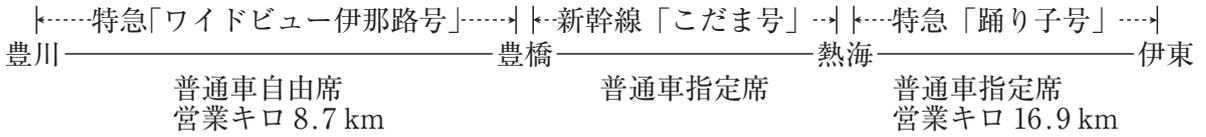
【東海道・山陽新幹線「のぞみ号」の指定席特急料金（通常期）】（抜粋）

名古屋	
5,910円	広島

- a.  $5,920円 - 530円 = 5,390円$  5,390円
- b.  $5,920円 + (5,910円 - 5,490円) - 530円 = 5,810円$  5,810円
- c.  $990円 + (5,490円 - 530円) + 870円 = 6,820円$  6,820円
- d.  $990円 + (5,910円 - 530円) + 870円 = 7,240円$  7,240円

問29. 以下の行程を大人1人が特急券を事前に購入のうえ、繁忙期に同日中に乗り継ぐ場合、豊川～伊東間の特急料金の合計額で正しいものは次のうちどれか。

[行程]



【東海道新幹線の指定席特急料金（通常期）】（抜粋）

熱海	
3,060 円	豊橋

【豊橋～飯田間で営業キロが 30 キロまでの区間の自由席特急料金】

330 円
-------

【「踊り子号」の特急料金（通常期）】（抜粋）

営業キロ	50 km まで
事前料金	760 円

- a. 330 円 ..... ①  
 3,060 円 + 200 円 = 3,260 円 ..... ②  
 760 円 ÷ 2 = 380 円 ..... ③  
 ① + ② + ③ = 3,970 円
- b. 330 円 ..... ①  
 3,060 円 + 200 円 = 3,260 円 ..... ②  
 (760 円 + 200 円) ÷ 2 = 480 円 ..... ③  
 ① + ② + ③ = 4,070 円
- c. 330 円 ÷ 2 = 165 円 → 160 円 ..... ①  
 3,060 円 + 200 円 = 3,260 円 ..... ②  
 760 円 ..... ③  
 ① + ② + ③ = 4,180 円
- d. 330 円 ÷ 2 = 165 円 → 160 円 ..... ①  
 3,060 円 + 200 円 = 3,260 円 ..... ②  
 760 円 + 200 円 = 960 円 ..... ③  
 ① + ② + ③ = 4,380 円

問30. 「ジパング倶楽部」の取扱いに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 新幹線と在来線の特急列車を乗り継ぐ場合であって、ジパング倶楽部及び乗継割引の適用条件を満たしているとき、新幹線の特急料金についてはジパング割引が、在来線の特急料金については乗継割引が、それぞれ適用される。
- b. JR線を営業キロが片道・往復・連続で101キロ以上利用するときは、運賃・料金ともにジパング割引が適用される。
- c. 新幹線「みずほ号」は、普通車自由席を利用するのであれば、運賃・料金ともにジパング割引が適用される。
- d. ジパング割引を適用した乗車券が利用できない期間はなく、通年利用することができる。

問31. 乗車券類の払いもどしに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a. 使用開始前の小児の片道乗車券を、有効期間内に払いもどす場合の払いもどし手数料は、220円である。
- b. 使用開始前の小児の往復乗車券を、往片と復片の両券片について同時に有効期間内に払いもどす場合の払いもどし手数料は、220円である。
- c. 新幹線「かがやき号」の立席特急券を、乗車日の出発時刻までに払いもどす場合の払いもどし手数料は、220円である。
- d. 特急「ひたち号」の座席未指定券を、使用開始前で券面表示の乗車日までに払いもどす場合の払いもどし手数料は、220円である。

問32. 交通新聞社発行JR時刻表（2021年5月号より抜粋）に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 特急「かもめ18号」にはグリーン個室が4室ある。
- b. 吉塚駅を14時07分発の快速列車に乗車し、下関駅へ最も早く到着するように乗り継ぐと、下関駅到着時刻は15時30分である。
- c. 博多駅を14時19分発の特急「ソニック31号」に乗車し、西小倉駅へ最も早く到着するように乗り継ぐと、西小倉駅到着時刻は15時44分である。
- d. 特急「ゆふいんの森2号」は普通車、グリーン車ともに全車指定席である。

